

かい  
**海**

よう  
**陽**



10月号  
69  
公民館報

He is  
Johannes Knudsen.  
He was  
very brave!

(彼はヨハネス・クヌッセンです。  
彼はとても勇敢でした。)



●英語で防災ウォークラリー  
& 英語カフェ

YUMMY!

(おいしい)

It's  
very hot  
today!!

(今日はとっても暑いね！)





## 土曜学習

海陽町教育委員会では地域や諸機関と連携して様々な体験活動を通して、「主体的に生きる力」や「地域を愛する気持ち」を育むために土曜日や長期休業日中に、「土曜学習」を展開しています。

## 「英語で防災ウォークラリー & 英語カフェ」



次のチェックポイントまで歩きます

今回はびっくり箱の事業と8月1日にコラボして実施した「英語で防災ウォークラリー&英語カフェ」を紹介します。今年度から町の児童青少年を支援する会が企画・運営している「びっくり箱」の事業のいくつか「土曜学習」の一環としてコラボさせてもらうことにしました。「びっくり箱」は、豊かな心を養うことを目的に町内の小

学生を対象に「ものをつくりだす喜び」「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」を感じられるような様々な活動を行っています。当日は、浅川漁村センターを会場に町内の小学校1年生から5年生までの21名の参加者が集まりました。講師として海陽町

出身でオーストラリア在住の東谷菜穂さん、前海陽町外国語指導助手でニュージーランド出身のジョアンナさん、現海陽町外国語指導助手でアメリカ出身のサラさん、町博物館の島田佳香さん、また、たくさんのボランティアの方々の協力により活動が始まりました。漁村センターでの開会式の後、実際にクヌッセンの碑、津波潮位石標、御崎神社津波潮位石標、愛宕山への避難路を



ところてん上手に押し出せるかな

を巡り、それぞれについて英語と日本語で説明を受けました。東谷さんの英語の説明は碑や石標についての英単語カードを使ってのものでした。子どもたち全員が大きな声



レッツダンス!

で英単語の復唱をしました。説明後、漁村センターに戻り、「びっくり箱」のボランティアスタッフが作ったおいしいかき氷やところてんスイーツを食べて一休みしました。(おいしかった・・・)休憩後、ジョアンナさん、サラさん



東谷さんに世界地図を使いながら出身の国の紹介をしてもらいました。東谷さんによるオーストラリアに住む動物の名前を使った歌や踊りに子どもたちは興味津々で、みんなで大きな声で歌ったり、踊ったりしました。最後に碑や石標の説明で使った英単語でビンゴゲームをして外国語指導助手の先生からハグのプレゼントをもらい大喜びでした。(男の子たちは照れてましたが・・・)半日の活動でしたが、子どもたちはリラックスした環境のなかで、楽しく英語や異文化について触れることができました。



英単語でビンゴゲーム

子どもたちの笑顔に輝いたすばらしい活動となりました。

このように海陽町では未来を担う子どもたちの健やかな成長のために様々な活動を展開している団体やそれを支えているボランティアの方々がたくさんいて地域で子どもを育てる関心が高いことを書き加えておきます。

## 土曜学習

# 平成29年度 海陽町文化財巡り



グループになって自己紹介

天候にも恵まれ、8月24日(木)、海陽町文化財めぐりが開催されました。町内の6年生、53名(海南小33名、海部小4名、穴喰小16名)が交流もかねて海陽町の史跡を



八坂神社で説明を聞きます

合同で巡りました。今年は、学校の垣根なく互いにジェスチャーゲームで自己紹介をしたり、海部かいりともみつ氏の説明の際には、海部友光やその妻、友光の義弟の千利休たちがタイムスリップして現れたりと楽しく地域の歴史を勉強することができました。

また、地域の講師スタッフの方から話を聞き、先人たちが築いてきた文化や知恵に触れることで郷土への愛着を深める機会となりました。



偉人たちがタイムスリップ!!

### —今後の予定—

12月16日に「小・中・高の英語交流体験事業」、12月25日に町内小学校5年生を対象にした「防災学習」を実施する予定です。

# 「人権力」ですみよい町に！ 四国地区人権教育研究大会に

参加して！

社会教育指導員 佐藤和久

## 西さんの実践報告

去る7月13、14日と松山市において四国地区人権教育研究大会が行われました。この大会の第4分科会（人権確立をめざす地域の教育力）において、突如にある佛西の西時正さんが海陽町を代表して実践報告を行ってくれました。

今回は、高い評価を得た西さんの障がい者雇用の取り組みについて簡単に紹介させていただきます。

西さんが経営するのは、自動車用ワイヤーハーネスを製造する会社です。障がい者雇用に始めたのは2003年の頃。最初は障がいのある方への対応の仕方や指導の仕方が分からず全くうまくいかなかったとのこと。



一時は雇用を断念することも考えたそうです。ところが、ハローワークからの情報で障がい者支援機関があることを知り、再度雇用にはチャレンジ。いくつかの支援機関と連携を取りながら、成果が上がる方法を模索していったそうです。

「障がいのある方を指導する専任コーチを決める」

「個に応じた指導方法を考える」「作業の見える化など作業がやりやすいように仕事場の改善を図る」「マンツーマンで繰り返し支援をする」など、本人の能力を引き出すための粘り強い取り組みが功を奏し、「他の従業員と同等の仕事ができる」という目標が早期に達成。現在、4名の方が6年以上継続して勤務されているそうです。

もちろん、すべてが順風満帆ではなく、様々な問題も発生するようです。しかし、海陽町でこのような取り組み

が行われていることは大変うれしいことであり、西さんの障がいのある方に対する考えや姿勢を見ると、今後の取り組みがさらに充実し、企業における障がい者雇用のモデルになるのは間違いないと思えます。

## 「ノーマライゼーションと障がい者雇用」

「ノーマライゼーション」という言葉があります。もともと北欧で生まれた社会福祉に関する言葉で、「高齢者や障がい者など社会的に不利を受けやすい人々が、他の人と同様の生活ができるように支援する」という考えです。もう少し平たく言うと、「障がいがあってもなくても誰もが安心して同じように暮らせる社会を作ること」と言えるかもしれません。

この「ノーマライゼーション」の考え方は、西さんの取り組みの中に見出すことができます。

「多くの人は障害のある人を見ると、初めから何もできないと思ってしまう。しかし、大切なことは、障がいのある方ではないという目で見るのでは



なく、持っている力を見極め活かしていくことである。西さんはこのようなことをよく口にされます。

障がいがあることで、「使えない」「できない」と最初から能力を否定してしまうのではなく、本人の特性や能力の適正を見つけて出し、自立できる力につなげていく、それが大切なのではないかということだと思います。

「障害があるから」といって特別視するのではなく、社会の中で普通に暮らしていける、そのような環境づくりを実現していくべきである。それが西さんの障がい者雇用に対する思いであり、そして、それはまた、社員の方々の共生に対する意識の高さによって実現されているのだと感じます。

個の違いが認識された良好な障がい者雇用が増えることは、障がいのある人だけでなくすべての人が地域で自立していくことを支え、「ノーマライゼーション」の考えが生かされた社会づくりの基になると思うのです。

### 人権啓発映画「この世界の片隅に」上映会報告

7月17日、海南文化館において人権啓発映画「この世界の片隅に」の上映会が行われました。この作品は、第40回日本アカデミー賞で最優秀アニメーション作品賞を受賞したもので、第2次世界大戦下の広島・呉を舞台に、大切なものを失いながらも前向きに生きようとするヒロインすずと、彼女を取り巻く人々の日常を生き生きと描き出しています。今回は300名近い参加があり、多くの感想をいただきました。その一部を紹介させていただきます。



- ◆70年前に実際にあったこと、こんな日々を超えて今がある。絶対に逆戻りをしてはいけません。(60歳以上)
- ◆田舎には見られないとあきらめていた映画でしたが、このような機会を得られたいへんありがたく、うれしく思います。前評判通りのとても温かいよい映画でした。(50歳代)
- ◆当たり前の日常が大切にされる世の中であってほしいと思いました。ごく普通の思いを描いていて、それでいて何より大切なことを教えられました。(50歳代)
- ◆多くの人の目に触れ、皆で考え、感動を分かち合う機会を持つことができよかった。(30歳代)
- ◆この映画を見せていただけてうれしいです。もう一度どこかで見たいです。つくづく絶対に戦いはダメです。ずっと戦争のない世の中だと思います。(60歳以上)
- ◆どんな状況でも生きていかなければならない。辛さもあり、幸せもあり。今の世の中は恵まれすぎているなと思う。(30歳代)
- ◆戦争は少しずつ生活を蝕んでいく。ずっと見たい映画でした。ありがとうございました。(50歳代)
- ◆何度どん底に突き落とされても再び前を向いて進んでいくすずに感動した。(40歳代)
- ◆戦争が始まったときはこわかったけど、みんなやさしくしてくれてよかったと思いました。私がもし今の時代に生まれていなかったら、すずさんみたいにできなかったと思います。とてもかわいそうでした。涙が出てきそうだったです。(20歳未満)
- ◆映画を子どもたちが見る機会が少ないし、戦争のことも知らないことばかりなので良かった。(40歳代)
- ◆めちゃくちゃ泣きました。すごく良かったです。(20歳代)

## ● ALT紹介 ●●●



メイ・リース

Hello. My name is May Reese. I am American and I am from San Francisco, California. In 2014, I graduated from San Francisco State University. My major was Comparative / World Literature. After graduating from university, I joined the Peace Corps, a volunteer program run by the American government. For two years, I taught grade school English in the country of Georgia. My hobbies are hiking and learning foreign languages. This is my first time in Japan. I can't speak Japanese very well yet, but I will definitely try my best! Please help me practice Japanese and teach me about Japan!

こんにちは。メイ・リースです。アメリカ人でサンフランシスコから来ました。2014年にサンフランシスコの大学を卒業しました。専攻は世界比較文学でした。大学卒業後、ピースコープス（平和部隊）というアメリカ政府が運営しているボランティアの組織に入りました。2年間ジョージアという国の学校で英語を教えていました。わたしの趣味はハイキングと外国語を勉強することです。今回、日本にはじめてやって来ました。日本語がまだまだ上手に話せませんが、精一杯頑張ります。どうかみなさん、日本語を練習するのを手伝ってください。そして、日本についてわたしに教えてくださいね。

ピースコープス・・・アメリカから発展途上国にボランティアとして派遣される組織



サラ・サクストン

Hello. I am Sarah Saxton. I am from the state of Colorado in the United States. My hometown is Evergreen. Evergreen is a mountain town. I studied abroad at Chukyo University in Nagoya. I also worked at a U.S Summer Camp in Fukuoka. I still think that my Japanese needs improvement. Since I want to study more Japanese let's practice together. My hobbies are playing games and doing cosplay. I make all my own cosplay. Of all my cosplay I like my one of Nami from One Piece best. My favorite games are Pokemon and Animal Crossing. I am excited to live in Kaiyō. I want to learn to surf while in Kaiyō. If you see me in town please talk to me.

こんにちは。私はサラ・サクストンです。アメリカのコロラド州から来ました。私のホームタウンはエバーグリーンです。エバーグリーンは山の町です。中京大学に留学をしました。福岡でUSAサマーキャンプで働きました。私の日本語はまだ下手だと思います。もっと日本語を勉強したいので一緒に練習しましょう。私の趣味はゲームとコスプレです。私はコスプレを全部手作りしました。私が作ったコスプレの中でワンピースのナミが一番好きです。ゲームの中でポケモンと動物の森が一番好きです。海陽で住むことはワクワクします。海陽でサーフィンを習いたいです。町で私を見かけたらぜひ声をかけてください。



8月18日(金)

# 海部川筋盆踊り

奥浦町民グラウンド



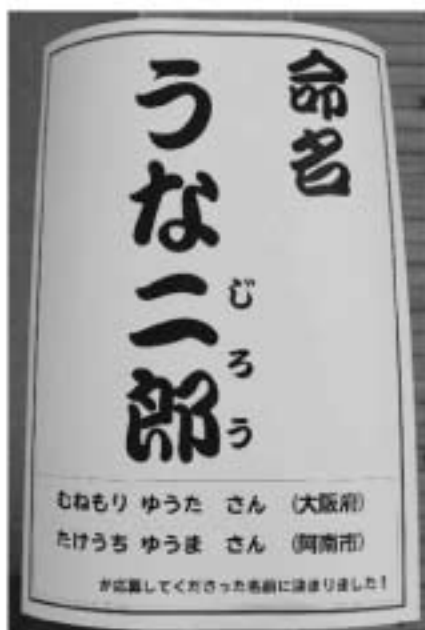
今年は急に雨が降り出すことも多く天候が心配されましたが、盆踊りを楽しみにしているみなさんの祈りが通じてか、とても好いお天気の中で盆踊りが行えました。

参加者も例年より多い120名(うち仮装参加者48名)と大盛況でした。

仮装参加者には商品券のプレゼントもあります。みなさん来年もぜひふるってご参加ください。



## オオウナギの名前が決定しました!



6月25日まで募集しておりました、海陽町立博物館にやってきたオオウナギの名前が「うな二郎」に決定いたしました! 語感が良く、オオウナギらしい親しみやすいネーミングが決め手となりました。

イーランドで人気者だった「うな太郎」のように、元気にすくすくと大きく育ててほしいですね。たくさんの人に素敵な名前を応募いただき、どことなくうな二郎も嬉しそうです。皆さん、本当にありがとうございました。

阿波海南文化村に立ち寄られたときは、是非、海陽町立博物館にいるうな二郎にも会いに来てくださいね。



## 2020年 東京オリンピックに向けて 海陽町体協サーフィン部 大会結果

2016年11月～2017年8月



県のオリンピック選手育成事業(昨年のオリンピックで金メダルを獲得した女子バドミントンの松友美咲選手ら徳島県内で約8名が選考されています)

そのうち海陽町からサーフィン部門で西 優司選手が選ばれ、7月21日(金)県庁にて知事より目録が手渡されました。知事よりサーフィンで徳島を盛り上げてくださいと激励を受けました。

今年9月末に日本宮崎で行われる VISSLA ISA World Junior Championship (各国18歳以下のクラスが出席する大会)に日本代表として男子8名のうち、安室 丈選手、西 優司選手、上山 キアヌ久里朱選手の3名が海陽町から選出されています。他の部員も日本各地のアマチュア、プロの試合において素晴らしい成績を残しております。

2020年東京オリンピックに向けますます注目をあびる選手が在籍する海陽町体協サーフィン部。これからも応援よろしくお願いいたします!



西 優司

### (アマチュア試合)

#### \* 四国の右下サーフィンゲームス for KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021

3月11日(土)・12日(日) 高知県 生見ビーチ  
オープンクラス 2位 金沢 太規 (穴喰小学校4年)

#### \* 第1回 オールジャパンスチューデントサーフィントーナメント

3月25日(土) 千葉 鴨川 マルキポイント  
メンクラス 優勝 上山 キアヌ 久里朱 (未来高校2年)

#### \* 第35回全日本編別サーフィン選手権大会 5月12日(金)～14日(日) 千葉県 いすみ市 太東海岸

1級 優勝 上山 キアヌ 久里朱 (未来高校2年)  
4級 4位 金沢 太規 (穴喰小学校5年)

#### \* 2017 東洋町杯 6月3日(土)・4日(日) 高知県 東洋町 生見海岸

U18クラス 優勝 上山 キアヌ 久里朱 (未来高校2年)  
オープンクラス 3位 金沢 太規 (穴喰小学校5年)

#### \* 第12回 日南市長杯 7月22日(土)・23日(日)

ジュニアクラス 優勝 上山キアヌ 久里朱 (未来高校2年)

### (プロ試合)

#### \* JPSA 第2戦 伊豆下田プロ CHAMPION PRO 6月23日(金)～25日(日)

ショートボード メンクラス 優勝 西 優司

#### \* JPSA 第3戦 夢屋サーフィンゲームス田原オープン 7月27日(木)～30日(日) 愛知県 田原市 伊良湖

ショートボード メンクラス 4位 辻 裕次郎

#### \* JPSA 第4戦 ALL JAPAN PRO 新島 8月18日(金)～20日(日) 東京都 新島村 羽伏浦海岸

ショートボード メンクラス 2位 辻 裕次郎

### (プロ・アマチュア混合試合)

#### \* JOC ジュニアオリンピック大会 第25回ジュニアオープンサーフィン選手権大会

6月16日(金)～18日(日) 宮城県 宮崎市 木崎浜海岸  
ジュニアクラス 優勝 西 優司  
ボーイズクラス 2位 金沢 呂偉 (穴喰中学校3年)

サーフィンは一試合4人で行う試合の形式上4位までが入賞の対象となります



第12回 海陽町文化祭 開催について

◆作品展示◆

海南会場(阿波海南文化村)  
 11月1日(水)~11月5日(日)  
 海部会場(海部庁舎3階・海部公民館)  
 11月1日(水)~11月5日(日)  
 穴喰会場(穴喰町民センター)  
 11月3日(金)~11月5日(日)



◆芸能大会(一般の部)◆

海南会場(海南文化館)  
 10月29日(日) 午後1時~  
 穴喰会場(穴喰町民センター)  
 11月12日(日) 午後1時~

◆芸能大会(学生の部)◆

海南文化館  
 11月4日(土) 午後1時~

◆関連行事◆

海南会場  
 囲碁大会 いきいき館和室  
 10月28日(土) 午前9時~  
 お茶会 海南文化館和室  
 11月3日(金) 午前10時~  
 穴喰・海部・海南合同俳句会  
 いきいき館和室  
 11月7日(火) 午後1時30分~



海部会場  
 お茶会 海部公民館2階  
 11月4日(土) 午前10時~  
 穴喰会場  
 お茶会  
 穴喰町民センター大会議室  
 11月3日(木) 午前10時~  
 民話紙芝居  
 穴喰町民センター大会議室  
 11月4日(金) 午前10時~

問い合わせ先 海陽町教育委員会 0884-73-3100 (皆さんのお問い合わせの上、ご連絡ください)



## 企画展

## 「海陽とわが家のお宝～まちの匠の再発見～」関連お話し会

～海陽中学校1年生の総合的な学習の時間にて～



神戸幸男さん

7月14日(金)、海陽中学校1年生が、総合的な学習の時間に海陽町立博物館の企画展「海陽とわが家のお宝～まちの匠の再発見～」を題材として学習しました。

出展者の一人である海陽町鞆浦在住の流木アーティスト神戸幸男さん(88)が「流木アートをつくる楽しみ」をテーマにお話されました。

神戸さんは長年漁師をされていました。高齢になってからふとしたきっかけで流木アートに興味を持つようになり、試行錯誤を重ねて素晴らしい作品を作るまでになりました。人前で話をするのが初めてという神戸さんは、最初は緊張していましたが、近くの大里松原海岸で流木を拾って作品にするまでの工程の話になると、その楽しさについて熱っぽくお話になりました。流木アートの魅力は「一つも同じものがない」ため、飽きることがないそうです。最後に、神戸さんの作品を生徒一人ひとりにお土産として渡しました。

次に、海陽町立博物館「さざなみ」の会ボランティアの谷崎祥子さん(74)に展示案内をしていただきました。

今回の企画展で展示された作品は、アートや創作作品というだけでなく、作者の経験や地域の歴史がうかがわれるものがたくさんありました。

竹細作家川野好春さんの三部作「サンマ棒受網漁」「カツオはえ縄漁」「マグロ一本釣漁」は、川野さんが若い頃漁師として乗船していた第8号住吉丸が、漁具を変更しながら日本各地の近海で1年中漁業をしていた様子を、川野さんの記憶をもとにえがいたもので、海陽町浅川の遠洋漁業が非常に盛んだった頃の形跡として貴重なものです。

展示品「沖高瀬の模型」「川高瀬の模型」は、今は失われた海部川の輸送機関である「高瀬舟」を惜しんで制作させたもので、作品としても見事ですが、歴史資料としても貴重なものです。

このような展示品を生徒に観てもらいながら、谷崎さんが当時見聞きしたことなどを交え、楽しくお話していただきました。生徒にとっては、今まで聞いたことがない深い地域の歴史話を聞くことができ、興味津々の様子でした。数少ない高齢者との交流の機会になったのではと思います。

地域の歴史や技術の伝承のためには、若い世代と高齢者がお互いに興味を持って交流していくことが大切です。

今後もこのような機会をたくさん作っていきたいと思います。

海陽町地域おこし協力隊 島田 佳香



谷崎祥子さん



# 川東公民館分館対抗ソフトボール大会

7月19日(水)・20日(木) 於：松原町民グラウンド

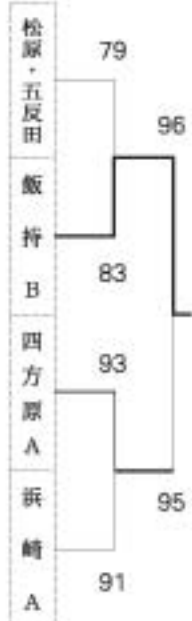


# 川東公民館分館対抗女子玉入れ大会

7月25日(火) 於：海陽中体育館



■決勝トーナメント



■予選

チーム名	1回	2回	合計
四方原C	44	55	99
松原・五反田	76	67	143
四方原A	87	94	181
浜崎B	64	75	139
飯持B	82	87	169
中小路A	48	51	99
飯持A	79	60	139
中小路B	61	69	130
吉野	44	40	84
四方原B	59	59	118
浜崎A	94	87	181



# 川東公民館分館対抗ミックスバレーボール大会

**優勝…松原・五反田A**  
**準優勝…松原・五反田B**

8月26日(土)  
於：海陽中学校体育館

決勝戦

松原・五反田A 15-12  
15-10 松原・五反田B



優勝した松原・五反田Aチーム

Aコート

チーム名	勝率	順位
松原・五反田A	2勝0敗	1
中小路A	0勝2敗	3
浜崎	1勝1敗	2

Bコート

チーム名	勝率	順位
中小路B	1勝1敗	3
松原・五反田B	2勝0敗	1
飯持	1勝1敗	2
四方原	0勝2敗	4

# 浅川公民館分館対抗ソフトボール大会

**優勝…伊勢田**  
**準優勝…**  
**イナ・浦上・西**

7月27日(木)・8月24日(木)  
於：浅川町民グラウンド



優勝した伊勢田チーム



# 浅川公民館分館対抗女子ソフトバレーボール大会

8月3日(木) 於：浅川町民体育館

優勝  
八坂・伊勢田下

準優勝  
イナ・浦上・西



優勝した八坂・伊勢田下チーム



阿波海南文化村 海陽町立博物館 第47回企画展



平成29年  
10/28(土) -  
平成30年  
-1/21(日)

会場 阿波海南文化村  
**海陽町立博物館**

【開館時間】  
9:00 ~ 17:00  
(入館は16:30まで)

【休館日】  
月曜日(祝日の場合はその翌日)  
年末年始(12/29~1/3)

【観覧料】  
大人300円(65歳以上150円)  
高校生以下無料

【入館無料日】 11/1~5 (文化祭)、11/12 (とくしま文化の日)、11/18・19・23 (関西文化の日)

〈主催〉海陽町立博物館・海陽町教育委員会 (お問い合わせ) 徳島県海部郡海陽町四方原字杉谷73 海陽町立博物館 ☎0884-73-4080



## 穴喰俳句

生き抜きし昭和の時代雲の峰

グロープで対話のキャッチ夏の父子

明易し車の止る音のして

仏具屋とほとけの話秋初め

歟と鎌残して空家夏の雲

盆休み親子で励む逆上がり

夏の子の青い目笑いハイタッチ

汗拭いて農業日誌ひらきけり

手を繋ぎ下駄カラコロと夏祭

夏の午後母との時間静かなり

どの色を四葩の色と呼べばいい

威勢よき鬼灯市の売り娘かな

ほんまかな言いつつ四万六千日

金魚飼ふ犬猫鶏も飼ひながら

長岡達江

元木栄子

朝賀ます美

元木朱子

寺崎照代

樽井みつ子

山本球子

間戸谷恵子

外山千佳

梅田千恵子

新井駿也

川野佳代

新井久実

木下野生

## 海南俳句

目をとちて経を聞きおり青蛙

遠花火小さき下駄の音がして

青田風吹き上げてくる無人駅

七夕に書いて流した夢の数

芝居絵に灯火妖しく夏の宵

ひとつ用終えては開く冷蔵庫

重きひと猛暑と共に居座りぬ

良く学び良く遊びたる老いの夏

光る露庭の夏草思ひの丈

天井のロマン実らせ天の川

海山に母さんの声終戦日

炎天に出歩く業の深さなり

朝顔の数調べの子一年生

七月の空気鎮まる能囃子

(中間慎太郎生家にて)

志士出でし青葉繁れる里静か

絵金さん今にきたる夏祭り

田中たち子

北川花

廣瀬克子

吉田保則

津川須美江

谷口洋根子

新居利之

岳山祐弘

叶岡陽二

森口豊子

武知陸子

山本達平

平道はつ子

谷律子

鍛冶崎郁夫

橋本幸子

## 海部ひまわり俳句

正座して手先はせわし盆支度	津田 一
葉から葉へ五センチの旅系トンボ	西本 公明
原爆忌国連尻目にミサイル飛ぶ	榑原 礼子
唇を笑みつつ尖らせつ阿波踊り	南 歌子
せみしぐれ日ごと激しく恋合戦	松田 嘉子
夏の雲パン焼く匂いどこかしら	元木 美枝子
立秋やあくがれ歩く夜もすがら	佐藤 美代子
黒南風や鞆の港の船だまり	穴戸 道子
緑陰の風は涼しく優しくて	岡 育代
ふわり盛りガラスの器に夏水	川野 照美
戸を透かせ虫の遠音の眠りかな	福田 敦子
家瘦せて伸ぶ夏草の儘にせし	佐藤 篤子
北朝鮮ミサイル打てば戦争か	穴戸 保夫
金星や山ももの色暁闇に	関山 無門

## 海部短歌会

去年より猛暑日多し暑くても辛抱辛抱刈り始まる	西田 美代
石庭にコスモス揺れて秋を待つ暑さ忘れて黄昏の中	伊岡 節子
「阿南のばあちゃんの方が好きやから」孫を叱りて返り討ちに遭う	風呂谷 幸子
コンパインの音頼もしく刈り取りを暑さもよそに笑顔の農夫	溝内 和恵
トマト熟れなすもかぼちゃも太りたり朝の畑は清気溢れる	小笹 仁子
米朝は牽制しあい中・口は傍観中日韓の危機あり	池田 孝司
ラフランスは一つ切りなり慎重に夫と切り合う新涼の野良	北村 千代子

## 網代川柳

和の心肝に銘じて生きる日々	高木 柳月
阿波踊り夏は平和の汗が飛ぶ	黒岩 一平
旗振りには嫁におんぶで平和です	井上 可楽
同窓会我が身忘れて皆老けて	太田 一洋
前向きに歩む気持ちに花も咲く	福岡 純山
前を行く人を抜けないじれったさ	石垣 小道
いい笑顔敵も味方も包み込む	風呂谷 いずみ



トピック

## 小笠原諸島発見記の碑



場所：博物館入口

平成23年に自然遺産に登録された東京都の小笠原諸島は観光地としても名高い。「小笠原」という地名は1593年に小笠原貞頼が徳川家康にすすめられて島を発見し、献上し、小笠原島の名を許されたということに由来している。

実はこの由来はあくまでも伝承であり、確証のある最も古い資料は、浅川浦の船が小笠原島(小笠原諸島)に漂着したことを記録して1670年に下田奉行所に報告をしたものである。つまり、資料から見ると浅川船に乗っていた人たちが最初に小笠原諸島を発見したことになる。

小笠原諸島には「漂流者冥福碑」がある。これは浅川浦の船の船頭であった勘左衛門を祀る碑であるので、小笠原諸島を訪れた時にはかならず海陽町民として拝礼したいものだ。

